

指導者講習会開催要項

2018年9月
一般社団法人日本気球連盟 安全委員会

1. 主催者、講師

下記4項のカリキュラムの指導者講習会受講経験者で、安全委員会が認めた者。

2. 受講対象

インストラクターおよび、インストラクターを目指すパイロット。

3. 講習時間

実質合計6時間以上の講習であること。

4. 講習内容(目安となる時間)

- 1) インストラクターに求められること、期待されること。 (30分)
- 2) 最新制度の説明 (1時間)
 - ・熱気球操縦技能証明認定制度
 - ・熱気球指導操縦士(インストラクター)制度
 - ・熱気球試験官(イグザミネー)制度
 - ・熱気球操縦士実技試験実施基準書
 - ・熱気球操縦士実技試験採点表
 - ・トレーニングログブック
- 3) 事故事例研究 (1時間)
 - ・最新事故例の報告
 - ・トレーニング中の事故例の報告
 - ・指導にあたって注意すべき点
- 4) これまでのトレーニングの振り返りと今後の指導について。 (1時間)
 - ・受講者によるディスカッション
 - ・ケーススタディ
- 5) 指導法紹介。 (2時間)
 - ・インストラクターによる指導法紹介と質疑応答
- 6) 参考書籍の説明 (15分)
- 7) インストラクター申請方法について (15分)
 - ・申請についての注意事項

5. 参考書籍

- 1) ・飛行教官ガイド 運航技術研究会編 一般社団法人日本気球連盟発行
・Flight Instructor Manual 日本語訳 一般社団法人日本気球連盟発行
・航空安全とパイロットの危機管理 小林宏之 成山堂書店発行
・世界一わかりやすい 教える技術 向後千春 永岡書店発行
- 2) トレーニングログブック 一般社団法人日本気球連盟発行

6. 受講者リスト

主催者は、講習会終了後、速やかに受講者の氏名・会員番号を一覧表にした受講者リストを安全委員会に提出すること。

7. 届け出

以下の項目についての内容を記載した届け出書を講習会実施予定日の 2 ヶ月前までに一般社団法人日本気球連盟事務局に提出する事。届け出書のフォーマットは特に指定しない。

- 1) 主催者、講師
- 2) 氏名、会員番号、連絡先(可能であれば E-Mail のアドレス)
- 3) 日時、場所
- 4) カリキュラムおよび時間
- 5) 費用

ただし、届け出書を E-Mail にて提出する場合は、直接、安全委員会に送付してもよい。
安全委員会 <open_safety_2009@jballoon.jp>

8. 講習料

一般社団法人日本気球連盟としては徴収しない。

以上